

後援会通信「グロース」春号

GROWTH

—大学と家庭をむすぶ—

2014 Spring

vol.

24

リレーインタビュー
**12,000の瞳、
 12,000の輝き。**
 series 6

学生時代は、多くのことに出会い、
 気づき、学んでいく成長の季節。
 その姿には
 一括りに語るこのできない
 豊かで多彩な個性の輝きがあります。
 今、興味をもっていること、
 打ち込んでいるもの、将来の目標、
 そして夢。
 東北学院大生一人ひとりの
 飾らない等身大の姿をご紹介します。

被災地での教育支援を展開するNPO法人アスイクでのインターンシップ(就業体験)を通じて、学習支援ボランティアに取り組んだ佐藤さん。2年生の夏から翌年3月にかけて、週3回、中学3年生の受験勉強をサポートしました。「私たちが取り入れたメソッドは反復学習。宿題→小テスト→解答確認というフローを繰り返して、苦手を克服していくものです」。初めは「塾なのに宿題が出るの?!」と不満げだった子どもたち。佐藤さんは根気強くコミュニケーションを図り、苦手な分野を聞き出し、個々の習熟度にあわせた学習プリントを作るなどの創意工夫を重ねました。「そうするうちに自主的に学習する姿勢が生まれてきました。これこそ私たちが目標としていたことで、学習方法を身に付けられれば、誰に頼ることもなく、持続的な勉強ができるようになります」。

佐藤さんたちの取り組みは、全国の若者が地域づくりの実践例を発表する「地域若者チャレンジ大賞2013」で見事、審査員特別賞を受賞しました。「様々な背景や価値観を持つ多様な人たちと出会い、影響を受けたことが大きかったですね」と佐藤さん。学習支援ボランティアは、自らを大きく成長させてくれる、意味と意義のある体験だったようです。



●インターンシップ参加前は、「人と直接接する職業は無理」と決めていましたが、いろんな体験を通じて、人ともっと関わりたいと思うようになりました。職業観も変わりました。

法学部 法律学科 4年
佐藤 捺美さん
 子どもたちの自主性育んだ学習支援ボランティア。審査員特別賞を受賞！
 「地域若者チャレンジ大賞2013」



●普段何気なく使っている道路や橋梁、トンネルなどの社会インフラ整備に興味があるという久光さん。総合建設会社(ゼネコン)での仕事を通じて、社会貢献していきたいと語ります。

工学部 環境建設工学科 4年
久光 浩基さん
 小学3年生から歩み始めた「柔の道」。
 厳しい練習やたくさんの方との出会い、勝負が、
 自分自身を鍛えてくれました。

勝利の追求だけではなく、身体・精神の鍛錬に重きが置かれる「柔の道」。久光さんが柔道を始めたのは、小学3年生の時。「スポーツ少年団に入ったのですが、友だちもたくさんできて、楽しく練習していました」。勝負を意識するようになるのは中学に入ってから。「かなり力を入れて臨んだ中総体の三回戦で敗北を喫してしまいました。もうやめようかなーと心が折れてしまいそうになったのですが…」、負けてしまった相手に、二度と負けまいと発奮し、道場に戻ってきたのだといいます。

高校は柔道の強豪校へ。越県通学、7時半からの朝練、放課後3時間以上の練習…と、まさに柔道漬けの日々。「部員の仲間たちとは、家族よりも一緒に過ごす時間が長かったのです。今でも何でも話し合える大切な友人です」。大学入学後はもちろん柔道部へ。「高校の時のように用意されたものではなく、自分たちで組み立てた練習メニューを取り入れました」。理工学系の学生を対象とした「全日本理工科学生柔道優勝大会」では、団体戦でベスト8に入賞したことも(1年生時)。「柔道は“一瞬”を制する者が勝てるスポーツです。集中力はかなり鍛えられたかもしれませんがね」。次なる闘いの舞台は、持久戦ともいえる就職活動。鮮やかな「一本!」となりますように。

ノルウェー王国からの拠出金によって設置された「東日本大震災復興のための女性リーダーシップ基金(事業主体:せんだい男女共同参画財団)」。その事業のひとつとして、昨年9月、東北の女子大生を男女共同参画の先進地ノルウェーに派遣する視察研修が実施されました。参加した6名の女子学生の一人が阿部さんです。

「女性の市議会議員やオスロ大学の学生たちとの交流を通じて、男女共同参画の歴史や現状、具体的な取り組みをお聞きしました。ノルウェーは、男女平等(ジェンダー・ギャップ)指数ランキングで世界第3位(2012



年。ちなみに日本は135か国中101位)ですが、元々、男女平等の先進国だったわけではなく、女性解放の運動によって、法律や政策が整えられていったという経緯があります。お会いした女性の方々は主張が明確で、「自立」という言葉がとても似合っていました。

潜在している女性の力を社会で活かすために、どうしたらよいか考えを巡らせているという阿部さん。「女性の多様な生き方が認められつつ、能力や個性を発揮しやすい制度や環境、文化が必要だと感じています。男性に向けた情報発信も重要です。頼もしい発言に、男女共同参画社会の未来が宿っているようです。

●ノルウェーでは、家族と過ごす時間をたくさん持つこと、そして働き過ぎないという価値観を大切にしています。とても素敵だと思いました。



教養学部 人間科学科 2年
阿部 望さん
 男女共同参画の先進地ノルウェーでの視察研修。
 “後進国”日本における、
 女性活用の仕組みを考える契機に。

CONTENTS

- 01 12,000の瞳、12,000の輝き。リレーインタビュー・6
- 02 Interview これがわたしの学院大スピリッツ 株式会社 阿部蒲鉾店：阿部賀寿男
- 03 後援会総会のお知らせ
- 04 地区後援会のお知らせ
- 05 ゼミ・研究室探訪 坪田 益美ゼミ
- 06 倶楽部拝見 奇術研究会・体操競技部
- 07 年間スケジュール
- 08 CAMPUS NEWS 学生サークル 情報ボランティア@仙台
- 09 学務部より
- 10 学生部より
- 11 就職キャリア支援部より

学都仙台、史跡の町多賀城、これらの地域にある3つのキャンパスに本年も新入生を迎え、新しい年度がスタートしました。東北学院大学後援会は、学生の勉学や課外活動を支援するために組織されたものです。また、本誌「グロース」は、大学の近況を後援会会員である保護者の皆さまへお伝えする情報誌であり、大学と家庭の架け橋となるものです。今号では、後援会総会や地区後援会の開催などについてお知らせしております。学生の充実した大学生活と東北学院大学の発展のために、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

これがわたしの
学院大スピリッツ

各界で活躍する卒業生を訪ねて



変わらない決意、変わり続ける勇氣。 100年企業を視野に、健康的なおいしさを世界へ。



阿部 賀寿男 あべ かずお
1965(昭和40)年4月13日生まれ、宮城県仙台市出身。東北学院大学経済学部経済学科卒。1988(昭和63)年味の素(株)入社。1991(平成3)年(株)阿部蒲鉾店入社。2000(平成12)年常務取締役、2003(平成15)年専務取締役。2007(平成19)年6月より現職。趣味は音楽鑑賞。座右の銘は「克己」。

自宅と工場が同じ敷地に立ち並ぶ環境で生まれ、「三代目」と呼ばれて。

笹かま、牛タン、ずんだ餅…仙台名産の御三家に挙げられる「笹かまぼこ」。時は明治時代、仙台湾で大量に獲れたヒラメやズキの保存のために、すり身にして調味し、焼かれたのが始まりとされています。当初は、その形状や製造方法から「ベロかまぼこ」「木の葉かまぼこ」「手の平かまぼこ」と様々な名前

で呼ばれていましたが、伊達氏の家紋「竹に雀」に着想を得、「笹かまぼこ」と名付けた人物がいました。阿部社長の御祖父にして、阿部蒲鉾店の創業者阿部秀雄氏です。いわば「笹かまぼこの父」をおじい様を持つ阿部社長は、自宅と工場が同じ敷地に立ち並ぶ環境で生まれ育ちました。

「祖父は私が小さいころから『三代目』と呼んで、可愛がってくれました。そうした刷り込みが奏功したのでは

うか(笑)、いずれ家業を継ぐのだと自然に認識するようになりました。宿命とか使命などといった気負いはなかったですね。さすがに自我が形成される思春期の頃は、抵抗する気持ちも芽生えましたが、夏休みには誰に言われなくても進んで製造工程を手伝っていました。やはり環境が、使命感や責任感を育てていくのだと思います」。中学から東北学院に進学した阿部社長。大学での学びと経験は、その後の人生にどんな影響を与えたのでしょうか。

「私はあまりまじめな学生ではなかったのですが、今でも利害関係抜きに付き合える友人との出会いがあったことは、ほんとうに得難いことでした。ゼミは『商品学』を履修しました。商品価値を商業的/科学的に比較分析して、評価する授業でしたが、これも将来を意識しての事でした」。中でも、最もご自身の血肉になったと語るのが、スクール・モットー『地の塩、世の光』です。

長い間築いてきた「絆」を原動力に、東日本大震災ではいち早く再建。

「当社は今年で創業79年。“企業の寿命30年”といわれる中、長らく企業



活動を続けてこられたのも、地域の皆さまやお取引先のご支援があってこそです。3年前の東日本大震災の折、工場は少なからぬ被害を受けました。大きな混乱の中、いの一番に駆けつけてくれたのが、日ごろ取引のある会社でした。建築資材不足、人手不足が深刻な中において、当社はいち早く再建することができたのです。「絆」を再認識するとともに、私たちも周囲の人々や社会に役立つ存在でありたいと改めて思いました。(株)阿部蒲鉾店では、津波の被害に遭った農業の再開を応援する「東北コットンプロジェクト」に賛同し、被災地で作られた綿の茎を抄きこんだ紙を、商品(厚焼笹)のパッケージに使用しています。

目標は「100年企業」。これまでもそうしてきたように、事業を継承していくために、社会経済情勢やマーケットを勘案して、変革する勇氣をもつことが大切、と阿部社長は続けます。「変わらないために、変わり続けるということです。国内での笹かまぼこをめぐる状況は正直、拮抗(はたか)しくありません。日本は今後、少子高齢化への道をひた走ることになりますから、市場も縮小していきます。海外市場を視野に入れる必要があるでしょう。笹かまぼこづくりに賭してきた人間として、純粋に、その繊細で健康的なおいしさを知ってもらいたいという気持ちもあるんですね。幸いにも、昨年暮、和食がユネスコ無形文化遺産に登録されました。これからは異なる文化を持つ方々への食べ方提案、保存方法も含めて研究していきたいと考えています」。おいしさは人びとを笑顔にする力があります。グローバル化の潮流の中で、我らがふるさとの味・笹かまぼこがどんな活躍をしてくれるのか、注目していきましょう。阿部社長、応援しています!

思い出
スクラップ
ブック

出の思
てマモス
れて

映画「私をスキーに連れてって」(監督:馬場康夫、1987年)がヒットし、第二次スキーブームに沸いた1980年代後半、アイスモンスター「樹氷」をバックに。



◀開館3年目の仙台市体育館で行われた卒業式にて。最後列、右側の紋付き袴姿が阿部社長。青雲の志に満ちる凛々しい表情が印象的。



〈会社概要〉 株式会社 阿部蒲鉾店
本 社 / 宮城県仙台市青葉区中央2-3-18
工 場 / 宮城県仙台市泉区明通4-10
事業内容 / 笹かまぼこ等、魚肉練り製品の製造加工・開発および販売
創 業 / 1935(昭和10)年10月
資 本 金 / 7450万円
年間売上 / 46億4000万円(11年3月期)
従 業 員 / 322名(うちパート141名) ※2012年10月1日現在

本年も、新緑映える泉キャンパスを会場に、後援会総会を開催いたします。当日は、総会のほか、「学生の就職を考えるセミナー」や「学生と保護者のための教養セミナー」、「パイプオルガンコンサート」、「学科別懇談会」や「個別相談」などの大学開放プログラムを多数用意しております。この機会に、ご子女の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。



昨年度の総会の様子

- 日時** 平成26年5月24日(土)
 - 総会/10時55分~12時
 - 大学開放プログラム/9時~16時30分
- 会場** 東北学院大学泉キャンパス(総会は礼拝堂)

平成26年度 東北学院大学後援会総会並びに大学開放プログラム 開催概要 日程:平成26年5月24日(土)/場所:泉キャンパス

時間	内容
9:00	受付総合案内所 9:00~14:30 (1号館外)
10:00	大学礼拝 10:25~10:45 (礼拝堂)
11:00	後援会総会 10:55~12:00 (礼拝堂) <ul style="list-style-type: none"> 1.開会宣言 2.聖書朗読並びに祈祷 3.挨拶 4.議事 (1)平成25年度後援会庶務報告 (2)平成25年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告 (3)東北学院大学後援会会長の選任 (4)平成26年度後援会事業計画(案) (5)平成26年度後援会収支予算(案) (6)その他 5.閉会宣言
12:00	パイプオルガンコンサート 12:15~12:45 (礼拝堂) 演奏者/小野 なおみ (礼拝オルガニスト)
13:00	学科別懇談会 13:00~14:00 (2号館各教室) ・学科の特色や教育内容 ・成績の見方、進級、卒業について ・教員との自由懇談(希望者のみ)
14:00	学生の就職キャリア支援を考えるセミナー 14:15~15:15 (2号館5階 257教室) 講師/㈱キャリア・D 代表取締役社長 菅野 健朗氏
15:00	保護者と学生のための教養セミナー 15:30~16:30 (礼拝堂) 講師/ダニエル・カール氏 (コメンテーター)
16:00	
17:00	

施設開放
9:00~15:30
(1)施設見学
就職キャリア支援資料室
図書館
情報処理センター
オーディオ・ビジュアルセンター
カウンセリング・センター
(2)課外活動見学
体育館
総合運動場
(3)大学紹介ビデオ上映
ビデオ上映
オーディオ・ビジュアルセンター

昼食
12:00~14:30
(学生食堂)
・第1食堂
・第2食堂
・喫茶リーベ

個別相談コーナー
12:30~15:30
(2号館各教室)
学生部
・奨学金
・課外活動
・アルバイト
・健康管理
就職キャリア支援部
・就職活動
・求人状況
・教員・公務員への試験対策と準備



地区後援会とは、7月~9月にかけて、北は札幌市から南は東京都までの全23地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況のご報告や個別面談などを行うものです。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。また、夏休み期間で帰省されているご子女とご一緒にご参加いただくこともできます。該当する地域の保護者の皆さまへの正式なご案内状の発送は、6月中旬を予定しております。多数の方々のお申し込みをお待ちしております。



昨年度の郡山会場の様子

- 実施期間** 平成26年7月11日(金)~12日(土)、18日(金)~19日(土)、8月9日(土)、22日(金)~23日(土)、30日(土)、9月5日(金)~6日(土)
- 実施会場** 全23地区(下記の表をご参照ください。)
- プログラム** 学務部・学生部・就職キャリア支援部からの説明、大学紹介ビデオの上映、就職キャリア支援セミナー、昼食、個別面談など

開催一覧

地域	開催地区	期日	会場
北海道	札幌	7月19日(土)	ホテル札幌ガーデンパレス
	青森	7月12日(土)	八戸グランドホテル
青森	青森	8月23日(土)	青森国際ホテル
	秋田	7月18日(金)	横手セントラルホテル
秋田	秋田	7月19日(土)	秋田ビューホテル
	大館	8月22日(金)	ホテルクラウンパレス秋北
岩手	盛岡	8月9日(土)	ホテルメトロポリタン盛岡
	一関	8月9日(土)	ベリーノホテル一関
宮城	北上	8月9日(土)	ホテルシティプラザ北上
	宮古	8月23日(土)	宮古ホテル沢田屋
宮城	大河原	7月11日(金)	えずこホール
	古川	8月30日(土)	芙蓉閣
山形	山形	7月12日(土)	山形国際ホテル
	米沢	7月18日(金)	東京第一ホテル米沢
山形	新庄	9月5日(金)	ニューグランドホテル
	酒田	9月6日(土)	ル・ポットフォー
福島	福島	7月19日(土)	福島グリーンパレス
	会津若松	8月22日(金)	会津若松ワシントンホテル
郡山	郡山	8月23日(土)	郡山ビューホテルアネックス
	相馬	8月30日(土)	相馬フローラ
いわき	いわき	9月6日(土)	グランパークホテルパネックスいわき
	東京	9月6日(土)	東京ガーデンパレス

※一覧表の内容が変更となる場合もあります。6月初旬発送予定の正式なご案内状をご確認ください。
 ※全体会の開始時間は10時、終了時間は13時です。また、個別面談を希望する場合の最終終了時間は、青森・八戸・秋田・盛岡・山形・福島・郡山・古川・大河原地区が15時頃、その他の地区は14時頃の予定です。

多様性を受容し、異なる文化を背景とする人びとと“共に生きる”社会を。

教養学部 人間科学科 教職課程担当(社会科教育) 坪田 益美 ゼミ

学生さんには、道を拓くのも閉ざすのも、自分自身であることを伝えていきたいですね。

坪田 益美 准教授 / 東洋大学卒、埼玉大学大学院修士課程修了、筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程単位取得退学。修士(教育学)。2011年4月東北学院大学教養学部人間科学科 講師、2013年4月より現職。専門は社会科教育学。

大学で「社会科」の重要性を痛感。

私が社会科教育の研究者を目指すことになったきっかけは、大学の教職課程科目だった「公民科教育法」を履修した際に、「社会科」という科目が、いかに重要で大切な科目か、ということを知ったことでした。その思いを抱えて、母校(高校)で教育実習に取り組んだ際、生徒から言われた「面白かったけど、もっと試験に出るところを教えてください」という感想に愕然としました。進学に力を入れていた高校でしたし、「点数」という利益を追求するのは致し方ないかなと思う反面、このように生徒たちが社会系科目の大切さをわからないままではもったいないし、何よりこのままで

は彼らが市民として成熟できないという危機感を覚えました。それにはまず、指導する立場の教員が、社会系科目の大切さや面白さをしっかり理解し、伝えられる力を身につける必要があると感じました。

隗より始めよ。私自身が社会科教育について、もっとしっかり、もっと広く深く理解し、それを伝えられる人間にならなければ、と考えました。そして、上述の「公民科教育法」を教えてくださいと埼玉大学のK先生に師事することを決めたのです。その埼玉大学の大学院で、研究の面白さに開眼。ただし、最初から面白かったわけでも、研究ができたわけでもありません。科学的、論理的思考どころか、レジメの書式等、基本的なことすら求められるレベルには達しておらず、その上、当時の私はダブルスクールで別の夢も追っていたため、全く努力が足りていない始末。温厚でいつも穏やかな同大学院のO先生を激怒させるという、研究室史上初の伝説を作ってしまうほど、「ダメな子」でした(苦笑)。

見限ることなく指導してくれた先生に感謝。

その叱責の後、O先生に近づくことすら怖かったのですが(笑)、次は失敗できないと思い、前出のK先生に徹底的に指導していただき、大学院1年目最後の論文構想発表会に臨みました。ちなみに、「研究が面白いかも」と少し感じたのがこの時でした。K先生と徹底的

～日本において授業科目「社会科」が新設されたのは1947(昭和22)年のこと。第二次世界大戦中の教育の反省に立ち、戦後民主主義の社会構成員にふさわしい市民を育成することが目標とされました。しかし昨今、グローバル化や情報化の目覚ましい進展に伴い、異なる文化背景を持つ他者と“共生”する姿勢や能力が強く求められるようになってきています。多様性とその対立を前提として共有してきたカナダの研究を通じ、日本社会にふさわしい市民像について探究・提言を行う坪田先生の研究室を訪ねました。～



に議論し、時に激怒されながらも、自分の思考を深めて行く作業の中で、パズルがカチっとはまるような愉悦、そして、発表後のO先生の「いいんじゃない?この方向性なら、ハーバーマス読んでみれば?」という指導で、研究に没頭していききっかけをいただきました。今でも、この時のO先生とK先生の、叱るべき時は徹底して厳しく、しかし学生が頑張るうちは、最後まで見限らないで指導してくれた姿が、私の教師としてのロールモデルだと思っています。今、学生を指導する立場になってみて、本当に「教員というのは大変だ」と体感しています。私のような学生に出会うと、くじけそうになって、自分の器の小ささを痛感します(笑)。

ちなみに、私はカナダのアルバータ州を研究対象としています。ここでは幼稚園から一貫した社会科教育がなされています。私はそこでのカリキュラムと教科書、学校等を訪ねるフィールドワークを通じて、日本における多文化共生へのヒントと方策を探っています。我が国は均質的な国家と言われますが、実はマイノリティ(少数派)が見えにくくなっているだけです。一方、17世紀中頃から様々な文化背景を持つ移民が入植し始めたカナダでは、違いを認め合うことを土台に、対話と合意に基づく社会をつくっていくという認識が共有されていますし、それが市民のあり方であると教育されます。そんなカナダの社会科教育は、個として、集団として異文化に向き合う知恵と心構えも教えてくれます。

海の向こうで、経験値/知を積んでほしい。

実はカナダを選んだのは、学生の頃の語学留学先であり、心理的に近い場所でもあったからです。私は夜間部に通う勤労学生だったのですが、勤務先で英語を流暢に話す方がいて、単純にその方に憧れました。そこから一念発起。土日も休みなく働いて費用を貯め、大学の2年生を休学し、渡加しました。今思えば、「よく頑張ったなあ」と我ながら感心しますが、カナダではその労力に勝る多くの出会いがあり、さまざまな異文化に触れ、視野が広がりました。今でも忘れられない貴重な経験です。そしてその経験(英語力も含め)が、結果として、今の私の就職にも生き方にもつながっている



←イギリスの研究仲間と親睦を深める



↑2012年7月 国際理解教育学会にてシンポジストとして登壇



↑アメリカの学校で、社会科の授業を視察

坪田先生の研究室、先生の事を知りたい

先生の部屋で発見! 愛されキャラなんですね...

わけです。

若者の内向き志向が指摘されて久しいですが、学生さんにはぜひ海の向こうに飛び出して、たくさんの人と出会って、さまざまな経験値/知を積んでほしいですね。

私は昼間働いて生計を立てながら、大学や大学院に通い、留学もし、さらには映画制作の学校にも通っていました。私は特別できる子でもなければ、才能のある人間でも、特別勤勉でも、金銭的に恵まれていたわけでもありません。ですから、学生にとっては、“為せば成る”の良きロールモデルになれるのではないかなと思っています。手前味噌ですが(笑)。

MY FAVORITE



私のお気に入り

とても仲の良かった友人を亡くし、世の中が暗転するほどのショックを受けてふさぎ込んでいた14歳の時、たまたまテレビで大林宣彦監督『ふたり』(1991年)を観ました。その映画は、生きている感覚も意味も無くしていた当時の私に、「悲しい」という感情を思い起こさせる悲しさがこみ上げてきました。「生きた証を残したい」と思いました。私は、その思いによって生きる気力を取り戻せたように思います。映画はその時から、人の感情を揺り動かし、感情を喚起し、生きている感覚を呼び起こしてくれる素晴らしいものになりました。以来、そんなすばらしい映画を創る映画監督が憧れの職業となりました。手元には、これまで時間を見つけては書き溜めた脚本がたくさん埋もれています。いつか日の目を見ることを夢見て(笑)。

倶楽部 拝見

奇術研究会



東北学生マジック連盟
奇術発表会 開催

■ 5月4日(日)
■ 場所/福祉プラザ
■ 時間/14時開場 14時30分開演
■ 入場無料

おそらく、誰もが一度は「このタネは一体?」と感じた経験があるだろう、マジックの不思議。その魅力に取り付かれた面々が集まる奇術研究会には、現在20名以上が所属している。「奇術という名前を掲げていると、どこか怪しいイメージを抱かれそうですが、やっているのはマジックとジャグリング。ここでは、2つを総称して奇術と呼んでいます」。こう話すのは幹事

長を務める佐々木さん。小学生時代に手品に魅せられ、友人や家族に披露した際の反応に喜びを覚えて以来、独自で研究を重ねてきたマジックの世界。当人にとって奇術研究会への入部はごく自然な流れだったが、言うなれば佐々木さんの場合はかなり特例。ほとんどの部員は、入部するまではタネも仕掛けも知らなかったマジック初心者たち。「単純に人を驚かせたい」「小ネタとして使えそう」と動機は様々だが、一言で言えば「興味本位」で門を叩くケースが大多数だという。

部内の雰囲気もアットホームで和気あいあいとしているが、その活動に関しては実に本格的。10月に開催される大学祭をはじめ、依頼があれば老人ホームや地域の子供会、時には県外に赴いてショーを披露する機会も少なくない。そして人前に立つからには、下手なものは見せられない、と思うのが人間の性。佐々木さんも、より楽しく、不思議な時間を提供できるよう

にと、研究や練習を欠かさない。「昔から趣味の範囲でやってきたとはいえ、大きなステージで披露する機会なんてありませんでした。その願いが叶ったのも、奇術研究会があったからこそ。多くのお客様からいただける拍手や歓声は鳥肌ものです。新入生の皆さん、入部理由は何でも構いません。マジックやジャグリングを楽しみたいなら、ぜひ奇術研究会へ」。



奇術研究会 幹事長
佐々木 大也さん
(教養学部 人間科学科3年)

体操競技部

例えば野球には草野球、卓球であれば温泉卓球。多くのスポーツには、競技を離れてからも趣味として継続できる場が用意されている。しかし体操に関して言えば、現役であり続けられない限り、その場を探すことは難しい。続けたくても、続けられる環境がない現実を理解しているからこそ、最上級生であり主将の江口さんは体操人生の集大成として、最後の大会での最高の演技を誓う。「待望の新入生が加入し、3年ぶりに団体として予選に出場できるのが今年。ハードルは高いですが、全員でこれまでにない演技をして全国への扉をこじ開けたいと思っています」。

体操競技部には現在、選手7名、マネージャー3名の総勢10名が所属。さらなるレベルアップを求め、日々トレーニングを重ねているが、平日に練習できるのは6種目のうちせいぜい3種目。というのも、全国でも上位に食い込む強豪校であれば器具

が常設されているが、ここではそうもいかない。体育館は他の運動部との併用のため、土日以外はなかなか床運動のスペースを取れず、他の種目を練習するのに器具をセッティングするだけで毎回20分以上。多くの制約がある中、選手たちは自らで演技構成を組み立て、技に磨きをかけている。

そして4月には、早くも全国大会への切符が賭かる東日本予選がスタート。誰もが厳しい戦いになることは承知している。プレッシャーの掛かる試合で、完璧な演技をする難しさも知っている。それでも、弱腰になる部員は一人としていない。「簡単な技もできないところから始まり、できた時の嬉しさが痛み付きになり、高校時代から続けてきた体操も今年で終わり。少しでも長く現役を続けるためにも、全国を狙います」。一人ひとりが笑顔で着地を決めた時、江口さんの言葉が現実になる。



体操競技部 主将
江口 晴紀さん
(経営学部 経営学科4年)



大学の年間スケジュールをお知らせいたします。
保護者の皆さまにもお覚えいただき、ご子女の円滑なる学生生活にお役立てください。

●年間スケジュール中の **土**印は土樋キャンパス、**泉**印は泉キャンパス、**多**印は多賀城キャンパスの日程です。

前期		後期			
平成26年 4月	1日(火) 新入生オリエンテーション(～7日)	9月	16日(火) 授業開始(土多泉) 30日(火) 9月期卒業式		
	2日(水) 入学式	10月	12日(日) 大学祭(泉～13日) 17日(金) 大学祭(土多～19日) 18日(土) ホームカミングデー[同窓祭]		
	8日(火) 授業開始(土多泉)		11月	20日(木) 振替授業(月曜日分) 24日(月) 授業実施日	
	12日(土) スプリング・カレッジ 29日(火) 授業実施日			平成27年 1月	5日(金) 泉キャンパスクリスマス 10日(水) 振替授業(土曜日分) 18日(木) 大学クリスマス(土泉) 19日(金) 大学クリスマス(多) 19日(金) 公開東北学院クリスマス(土) 19日(金) 授業終了(土多泉) 20日(土) 冬休み開始(土多泉) 20日(土) 集中講義(土多泉～27日)
5月	15日(木) 創立記念日[創立128周年] 24日(土) 後援会総会 31日(土) 青山学院大学総合定期戦(～2日)	3日(土) 冬休み終了(土多泉) 5日(月) 授業開始(土多泉) 14日(水) 振替授業(月曜日分) 17日(土) 大学入試センター試験(～18日) 24日(土) 授業終了(土多泉) 26日(月) 後期試験(～29日、2月6日～7日)			
	6月	11日(水) 振替授業(土曜日分) 20日(金) 北海学園大学総合定期戦(～22日)	2月		1日(日) 一般入学試験 前期日程(～3日) 6日(金) 後期試験(～7日)
		7月			11日(金) 地区後援会(大河原) 11日(金) 振替授業(月曜日分) 12日(土) 地区後援会(八戸・山形) 18日(金) 地区後援会(横手・米沢) 19日(土) 地区後援会(札幌・秋田・福島) 21日(月) 授業実施日 25日(金) 授業終了 26日(土) 前期試験(～31日、8月1日)
8月	1日(金) 前期試験 2日(土) 夏休み開始(土多泉) 2日(土) オープンキャンパス(全学部) 3日(日) オープンキャンパス(多) 4日(月) サマー・カレッジ(～6日) 9日(土) 地区後援会(盛岡・北上・一関) 22日(金) 地区後援会(大館・会津若松) 23日(土) 地区後援会(青森・宮古・郡山) 30日(土) 地区後援会(気仙沼・古川・相馬)		*日程は変更となる場合もあります。		
	9月		1日(月) 集中講義(土多泉～10日) 5日(金) 地区後援会(新庄) 6日(土) 地区後援会(酒田・いわき・東京) 13日(土) 夏休み終了(土多泉)		

CAMPUS NEWS

新聞記事制作&震災関連情報を発信 本学の学生記者が奮闘中

河北新報社が2012年4月にスタートさせた学生記者団体「仙台養筆堂」や、SNSを通じて震災に関する情報を発信している学生サークル「情報ボランティア@仙台」。その主要メンバーとして、本学の学生たちが仙台圏の「いま」を伝える活動に励んでいます。

「仙台養筆堂」は、学生自らがレポートしたい題材を選定し、取材・執筆した記事が実際に河北新報夕刊に掲載されるもの。本学からの参加者の実績として、「車いすバスケットボール」や「山ガール」などを取り上げた記事が紹介されました。取材に当たった学生は話します。「車いすバスケットボールというスポーツ自体は知っていましたが、取材をする機会がなければその魅力や迫力に気づくことはなかったと思います。学生記者を通して、新たな発見に出会う楽しさ、嬉しさを知りました」。

一方、ブログやツイッターなどのSNSを活用し、震災関連情報を発信している「情報ボランティア@仙台」でも、本学の学生が奮闘中です。こちらでも題材選びから取材・執筆まで、すべて自ら担当。定期的に、様々なボランティア団体の活動状況やお役立ち情報を伝えています。こうした活動が契機となり、中には「卒業後は新聞記者に」と話すメンバーもいるほど。参加者は一様に、学生記者としての日々情熱を傾けています。



学生記者の梅村雅さん
(教養学部地域構想学科)



梅村さんが担当した河北新報の記事



学務部より

「授業評価」をめぐるジレンマ

学務部長

千葉 昭彦

大学での授業評価は2008年の大学設置基準改定で義務化されていますが、東北学院では1996年から実施しています。本学を含む多くの大学での質問項目としては「事前事後の自主的な学修の状況」「授業のわかりやすさ」「担当教員の意欲」「補助教材の質」などがあり、これに5段階評価で回答する形式になっています。このアンケートは各期末に授業中に時間をとって実施され、次年度の授業改善に用いられています。

このような授業評価に対して、全国各地で「学生は気まぐれで、正当な評価はできない」「先生に対する人気投票に終

わってしまう」といった意見も聞かれます。ただ、アメリカの事例調査による結果ですが、Aleamoni(1999)は、「そのような指摘は神話に過ぎない」と述べています。

この授業評価には自由記述欄もあります。そこには教員に対するお世辞や悪口もありますが、かつては授業改善に活かせる指摘も少なくありませんでした。けれども、近年は「休講するのは自覚がなさ過ぎる」「授業中に小テストが多いのは、就職活動に対して理解がなさ過ぎる」「就職が決まった4年生の評価に配慮がないのは考えられない」などの記述が目につくということが多くのところで話題になります。学生としての言い分もあるのですが、少なくとも“大学と一緒に作っていく構成メンバー”と言った意識は薄くなっているように感じられますし、授業改善に活かさない記述では対応のしようもありません。実のある授業評価にするための試行錯誤は東北学院を含む全国の大学でまだ続くようです。

Aleamoni, L.M.(1999): Student rating myths versus research facts from 1924 to 1998, Journal of Personal Evaluation in Education, 13, 2, 153-166

学生部より

さまざまな地域交流

学生部長

石塚 秀樹

震災が一つの転機になって、さまざまな分野で地域交流が活発になっています。学生の積極的な活動を展望、期待するシンポジウムが、昨年12月13日、14日に本学押川記念ホールで大々的に行われました。「震災復興・地域再生と学生ボランティアの役割」には全国から参加した学生が、3年目を迎えたボランティア活動の質的变化について熱のこもった議論を繰り広げました。

また、法律学科4年の佐藤捺美さんは、仮設住宅に住む児童への学習支援プロジェクトに参加し、学習意欲が減退して

いる児童への教材作りに取り組み、「地域若者チャレンジ大賞2013」審査員特別表彰を受賞しました。佐藤さんは、この功績によって東北学院大学の学長特別表彰も受けています。

そして、11月23日には、東北学院大学土樋キャンパス周辺地域の街づくりの一助として、初めて「わが街コンサート」(押川記念ホール)が開かれました。開会にあたり、松本学長は、「東日本大震災による被災は、私たち地域に開かれた大学として、もっと皆さまと交流することの大切さを、改めて気づかされる出来事でした」と感謝の言葉を述べられました。片平丁小学校吹奏楽部、五橋中学校吹奏楽部、本学シンフォニック・ウィンド・アンサンブルの総勢130名による演奏は、たいへん和やかなもので、会場全体をすぐにアットホームな雰囲気にしてくれました。

大学と地域社会との連携になると思われます。

就職キャリア支援部より

就職活動スケジュール

	1年生			2年生			3年生						4年生					
	7月	10月	3月	6月	8月	3月	6月	8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	9月
一般企業	●就職ガイダンス ●適性検査			●就職ガイダンス	●就職対策講座 ●論文講座	●総合適性検査	●第1回 SPI模擬試験 ●総合適性検査	●第1回 就職活動ガイダンス ●第2回 就職活動ガイダンス	●第3・4・5回就職活動ガイダンス ●就職実践模擬試験 ●第2回 SPI模擬試験 ●SEQ・自己分析・行動特性検査	●第6回 就職活動ガイダンス	●第7・8回 就職活動ガイダンス	●情報処理適性検査	●エントリーシート指導・面接対策指導	●第9回 就職活動ガイダンス			●東北地区私立大学就職セミナー	●第10回 就職活動ガイダンス
公務員	●公務員ガイダンス ●公務員講座【教養基礎】 ●公務員講演会			●公務員ガイダンス ●公務員講演会	●公務員講座【教養科目基礎養成コース】 ●公務員講座【専門科目基礎養成コース】 ●公務員講座【技術職基礎コース】 ●公務員合同説明会	●公務員講座【教養科目完成コース】 ●公務員講座【専門科目完成コース】 ●公務員ガイダンス	●公務員講座【技術職応用コース】 ●公務員合同説明会		●公務員模擬試験 ●公務員先輩体験談				●公務員講座【教養科目実践コース】 ●公務員講座【専門科目実践コース】 ●公務員面接対策講座 ●公務員講演会 ●公務員模擬試験 ●公務員合同説明会		●公務員講座【直前対策】			
教員	●教職課程ガイダンス ●教員講演会			●教職課程ガイダンス ●教員講演会	●教員模擬試験		●教職課程ガイダンス ●教員対策講座		●教員講演会		●教員対策講座							●教員採用説明会

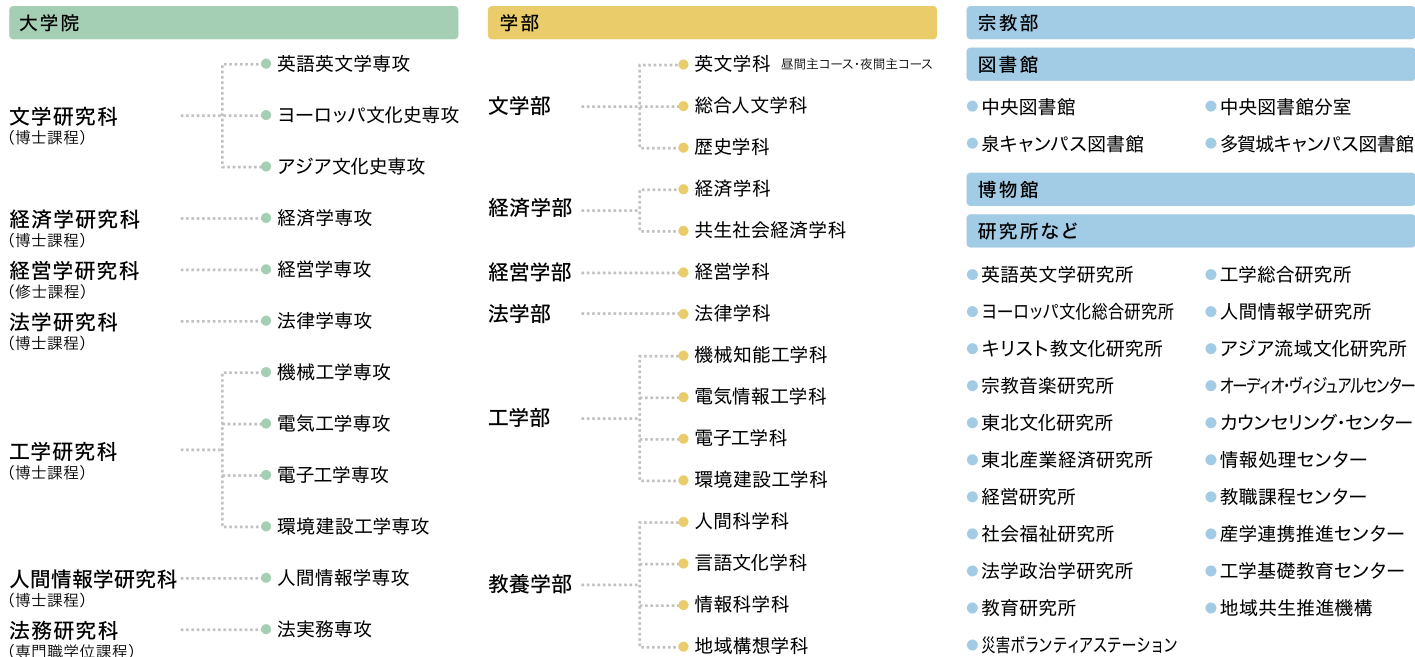
*スケジュールはキャンパスによって多少異なります。

任期(平成24年～平成26年)

- **会長** …………… 丸森仲吾(仙台市)
- **副会長** …………… 三島卓郎(仙台市)・後藤久幸(仙台市)
- **庶務担当理事** …… 高橋祥允(仙台市)
- **会計担当理事** …… 小濱良雅(仙台市)
- **理事** …………… 寒河江満子(仙台市)・佐久間敬子(仙台市)・村山令記(仙台市)・齋藤靖(仙台市)・今野文昭(仙台市)・庄子真由美(仙台市)・武内宏之(石巻市)・桂久(札幌市)・成田智典(青森市)・松本宏(八戸市)・小野寺久美子(秋田市)・深澤禎彦(横手市)・工藤敏納(盛岡市)・及川和夫(北上市)・浦島康弘(大船渡市)・金子泰雄(山形市)・鈴木信一(酒田市)・國分容子(福島市)・只野裕一(相馬市)・福井丈夫(新潟市)
- **監事** …………… 白木進(仙台市)・浅野ひとみ(仙台市)・菅野雅之(仙台市)
- **顧問** …………… 松本宣郎・星宮望
- **参与** …………… 佐々木俊三・斎藤誠・辻秀人・原田善教・菅山真次・高木龍一郎・中沢正利・佐久間政広・佐々木哲夫・日野哲・千葉昭彦・植松靖夫・石塚秀樹・前田修也・中川清和・楊世英・日野望・木村安博
- **事務局長** …… 齋藤信二
- **事務局員** …… 小松隆・佐藤光男・丹野光雄・横山伸一・小原武久・二階堂哲・土田恵介・菅井研・水野徹・渡邊義春・廣瀬理行

ORGANIZATION 教学組織図

平成26(2014)年4月1日現在



東北学院大学

<p>土樋 キャンパス</p>	<p>大学院：文学研究科、経済学研究科、経営学研究科、法学研究科、法務研究科 学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各3・4年)、夜間主コース 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6421(総務課) fax 022-264-3030(//)</p>	<p>多賀城 キャンパス</p>
<p>泉キャンパス</p>	<p>大学院：工学研究科 学部：工学部 〒985-8537 多賀城市中央1-13-1 tel 022-368-1116(庶務係) fax 022-368-7070(//)</p>	<p>大学院：人間情報学研究科 学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各1・2年)、教養学部 〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1 tel 022-375-1121(庶務係) fax 022-375-4040(//)</p>

東北学院大学後援会通信 GROWTH (グロース) vol.24

■本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

発行日/平成26(2014)年4月

編集/東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)

発行/東北学院大学後援会 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6411 fax 022-264-3030

E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp URL http://www.tgu-kouenkai.org/

印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社

○GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に視されつつ大きく成長するようという期待が本誌に込められています。

【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

【「個人情報保護法」への取り組みについて】平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」のっとり、個人情報の適正な管理と保護に努めています。後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様の個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。なお、後援会事務局で使用する個人情報の利用目的は次の通りです。

- 「保護者のための大学ガイド」並びに「後援会通信「グロース」」の発行・送付
- 「後援会総会」並びに「地区後援会」の案内
- その他、上記に関連する業務



GROWTHは、地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインクを使用して印刷しています。